



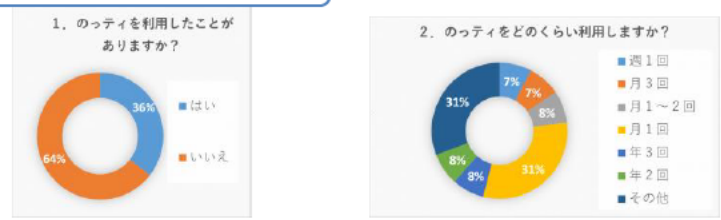
メンバー

担当教員・笠森正人先生
クラス・EM403-5

テーマ選定理由

- ・工大生が利用しやすい交通機関の一つとして取り組む。

現状調査



のっティの利用経験者は36% (16人)、その内利用頻度が月1回以下の人は78% (10人)である。
(アンケートの人数:45人)

図1 のっティ利用状況

図2 のっティ利用頻度

前提条件

対象者 工大生
年齢制限 大学1年生～大学4年生
範囲 野々市市

目標値

- ・対象者に対する利用経験者の割合の増加
- ・広告量の増加、目に留まる効果的な広告量
- ・収支を元に戻し、利益を上げる

既存策

- ・バスローケーションシステムの導入
- ・車内モニター広告
- ・AI活用による利便性向上

① Cs Lab エッジでAI「車内状況分析」

② AI学習

③ モデル・アクション配帳

④ 車内状況判定

⑤ アクション実行

図3 AI活用による車内状況分析システム

残存問題点と真の課題



図4 なぜなぜ分析結果

課題解決のためのアイデア創出

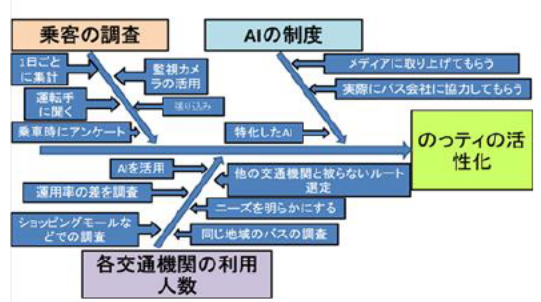


図5 アイデア創出の特性要因図

創出したアイデア

QRコードを用いた乗客の性別や年齢層の調査→



既存特許の利用で回答者へのサービス提供やデータの有用化を実現

図6 アンケート用QRコード案

まとめ

- ・私たちの創出したアイデアでのっティの利用者の特徴を明らかにする。
- ・利用者に合わせた効果的な広告やサービスを行う。
- ➡企業の利活用を促進させる。